

小松代さんが瑞宝単光章を受章 消防功労

元町消防団第1分団副分団長の小松代孝さん(11区)が瑞宝単光章を受章しました。小松代さんは1964年10月に町消防団員を拝命以来、96年には第1分団班長、99年から4年間、第1分団副分団長として消防業務に尽力されました。

ポンプ車の機関員として30年。「いち早く現場に駆け付け、自分が行かなくては消火できない」という気持ちを持ち続け、自分たちの地域は自分たちで守るという精神の下に消火や救助、警戒活動に従事されました。



県の芸術文化の発展に貢献 浅利さんが県芸術文化協会表彰を受賞

町芸術文化協会長の浅利和昭さん(19区)が、2017年度県芸術文化協会表彰を受賞しました。浅利さんは長年にわたり郷土芸能団体の活動に精励、普及振興と後進の育成に尽力。また町芸術文化協会では1990年から副会長、93年から会長を務め、町や県の芸術文化活動の推進に大きく貢献しました。

6月5日には町役場に岩淵教育長を表敬訪問し、受賞を報告。浅利さんは「関係者の皆さんの協力がありこれまで続けてこれた」と感謝の言葉を話していました。



日頃の感謝の気持ちを込めて 黄金荘利用者が地域の清掃活動

黄金荘(得田和明施設長)の地域清掃活動が6月15日、同施設のある7区地内で実施されました。

この活動は、日ごろからお世話になっている地域への社会貢献の一環として毎年開催されています。

この日は、施設利用者6人とスタッフ3人で作業を開始。約2kmの沿道に落ちている空き缶やたばこの吸い殻などのごみを拾い、地域の人たちへ感謝の気持ちを込めながら清掃活動をしていました。

元気いっぱいプレー！ いきいきシルバースポーツ大会

6月17日、平泉小学校体育館を会場に「第42回いきいきシルバースポーツ大会」を開催しました。60歳以上の町民約250人が参加。参加者は地域ごとに5つのチームに分かれて、ボール送りやじゃんけんリレーなど4種目で順位を競い、元気いっぱいの姿を見せ、大会を盛り上げていました。

大会は32連覇をかけて臨んだ長部チームを抑え、小島チームが見事優勝。長部チームと平泉北チームが同点で準優勝に輝きました。



思いやりのある優しい心を育む 二葉きらり園などで人権の花運動

6月5日～7日、町内の保育所や学校などで人権の花運動が開催されました。この運動は、子どもたちが花を育てることを通じて、協力することや命の尊さを考え、思いやりのある優しい心を育むことを目的としています。

このうち二葉きらり園では6月5日に、年長児31人が参加し、人権擁護委員の人権についての講話の後、ベチュニアとメランポジウム、アゲラタムの3種類の花苗をプランターに植え、優しく水やりをしていました。

夢を持つことの大切さを語る 平泉小、長島小で「夢の教室」

日本サッカー協会主催のプロジェクト「夢の教室」が6月5日長島小学校で、6日には平泉小学校で開催されました。

社会人硬式野球の茨城ゴールデンゴールズ選手兼監督を務める片岡安祐美さんが先生となり、これまでの自分の体験を紹介し、児童に夢を持つことの大切さを訴えました。児童たちはキャッチボールやゲームを通じて仲間と協力することの大切さを学んだ後、教室に移動して、片岡さんの話を聴き、それぞれが自分の夢について真剣に考えていました。



平泉の価値について語り合う 「平泉世界遺産の日」シンポジウム

「平泉世界遺産の日」シンポジウム(県、世界遺産連携推進実行委員会主催)が6月17日、中尊寺本堂で開催されました。

元文藝春秋常務取締役の鈴木文彦さんによる基調講演に続き、パネルディスカッションには鈴木さんと作家で動物研究家の遠藤公明さん、多言語翻訳などを手掛けるザ・サードアイ・コーポレーション代表取締役の田中さか江さん、平泉町出身の英字誌編集・ニュース翻訳者の泉伸弘さんの4人が参加し、平泉の価値について語り合いました。



功績が認められ受賞 人権擁護委員の及川さんと千葉さん

5月19日、人権擁護委員の及川幸子さん(11区、写真左)が全国人権擁護委員連合会長表彰を、同委員の千葉博昭さん(16区、写真右)が県人権擁護委員連合会長表彰をそれぞれ受賞しました。

2人は豊富な経験を生かし、人権擁護委員として、さまざまな悩みや心配ごとの相談にあたり、及川さんは委員に委嘱された平成21年から、千葉さんは委嘱された23年からそれぞれ現在までの功績が認められ、受賞されました。